



すごいぞ！柏プロジェクト！

2022年2月28日 第17号

店名は“南部っ子かぶ屋”に決定！

道の駅しょうなんでの出店が決まった3年生。ここから開店に向けてどんな準備が必要なのか、体育館で学年みんなで話し合いました。

すると、子どもたちからたくさんのアイデアが出てきました。

- 「看板を作りたい！」「チラシやポスターを作って配りたい！」「値段を決めないと...」
- 「おすすめのメニューやレシピを紹介したい！」「お店の名前を決めたい！」
- 「カウンターのテーブルが必要」「商品を入れる袋やラベルが必要」
- 「自分たちで考えたキャラクターを掲示したい！」「これまでの学習の掲示物を飾る！」など

この開店準備の話し合いには、2学期の社会「お店ではたらく人」の学習が生きていました。子どもたちは、実際にスーパーマーケットを見学して得た知識をもとに、売り場のレイアウトについてさまざまなアイデアを出していました。

そして、学年みんなで分担したほうがいいのか、みんなで決めたほうがいいのかを分けて考えました。そこで、野菜の値段やお店の名前は、みんなで考えることにしました。

たくさんのお店の名前の候補が挙がりましたが、子どもたちは、「南部らしさが入ること」や“南部っ子”というこれまで何度も使ってきた言葉の愛着や響きを大事に考え、店名は「**南部っ子かぶ屋**」に全会一致で決定しました。

3月12日(土)のオープンに向け、どうしたらよい店になるか、全員で考えていきます。



3月8日(火)の給食に 3年生のほうれん草が！

給食に出すための計画も進んでいます。ほうれん草をどんな料理にして給食に出してもらうか、子どもたちは「給食のことなら河島先生に聞くべき」と考え、1組の実行委員が栄養教諭の河島先生に質問しに行きました。すると、河島先生はすぐに、いくつものメニュー例を写真付きで紹介してくれました。その資料を実行委員が全員に見せ、どんなメニューにするか学年全体で話し合いました。

「ほうれん草の味が濃い方がいいからあえ物がいい」「お味噌汁にしたらおいしい」など、さまざまな意見の中から、最後は「**ほうれん草のよさも出て、みんなが好きで食べやすい**」という理由から**シチュー**に決まりました。

その後、2組の実行委員が河島先生に改めてお願いに行きました。そして、**3月7日(月)収穫、8日(火)に給食**に出してもらえ、ということになりました。

